

1 事業タイトル

ハジアイ（支え合い）でつむぐタテとヨコ ～未来へつなぐ、私たちのふるさと～

2 事業概要

【人吉球磨地域の県立四高校（普通・工業・商業・農業）の持ち味を活かし、和綿の里づくりを通じた地域体験学習】

”ハジアイ（支え合い）でつむぐタテとヨコ”

タテ：幼、小、中、高校の連携。

ヨコ：人吉高校、球磨工業高校、球磨中央高校、南陵高校との連携。

あさぎり町須恵の有志より平成25年に『和綿の里づくり』が発足し、今年で10年目を迎える。この会は、須恵地区に伝えられている『ハジアイ（支え合い）』『かちやあ（共同労働）』の精神を今に繋いで、子どもからお年寄りまで、障がいの有無を越えて交流を行う地域づくりと信頼できるものづくりを行っている。

活動概要としては、約15haの畑に5月に種まき、10月から1月頃までの収穫があり、一緒に汗を流す共同作業を通して地域交流を行っている。また、種まきや収穫イベントにおいては、南陵高校の生徒が作業説明、球磨工業高校の生徒が司会をするなどの手伝いを行ってきた。収穫した和綿は、NPO法人あすなりネットワークやつつじヶ丘学園を利用する障がい者が『綿繰り機』を使用して作業を行い、それをマインド熊本、マインド松井で買い付けて、糸から製品化までの工程を担っている。製品としては、タオル・ハンカチ・ショール・マスク・ポーチを作って、マインド熊本にて販売を行っている。

今年度より人吉高校と球磨中央高校が加わり、球磨人吉地区の県立高校（普通・工業・商業・農業）が集まり、『和綿の里づくりプロジェクト』を通して、種まきから収穫の体験を通して、製品のPRや情報（ネットワーク）を活用したPRをすることで、思いやる『共同の精神』、『ハジアイ（支え合い）』、『かちやあ（助け合い）』を体験しながら地域の活性化をねらいとする。

（1）活動内容

- ・ 和綿の栽培を通して、和綿製品のPR、商品開発、情報を活用したPRなどで、地域の活性化を図る。
- ・ 学校PR「中学生、地元企業経営者に向けて」

（2）各学校の役割

人吉高校：農作業・ホームページでのPR・ドローンでの動画撮影

球磨工業高校：農作業、綿繰り機のメンテナンス

球磨中央高校：農作業、商品開発・販売「球磨中央百貨店」

南陵高校：農作業、綿の芯止め・草払いの指導

（3）種まき

6月8日 須恵幼稚園、須恵小学校、球磨中央高校、球磨工業高校、つつじヶ丘学園、老人会等の80名が参加し、「和綿の種まき」を行ないました。農業が専門の、南陵高校を中心に、畑の手入れを行ないました。生育の様子や各校の活動の様子は、One TeamプロジェクトのClassroomで随時更新されました。

熊本県立高校 One Team プロジェクト事業



写真1 熊日新聞記事

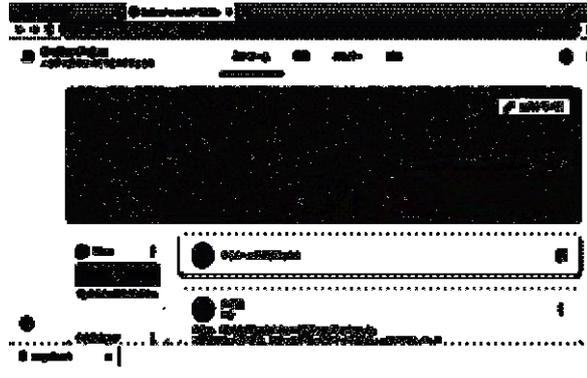


写真2 One Team プロジェクトの Classroom

(4) 草刈り・芯止め・刈払い機講習会

8月24日 南陵高校12名・球磨工業高校8名が参加し、「草刈り」、「芯止め」、「刈払い機講習会」を行ないました。南陵高校総合農業科の生徒が講師となり、芯止めのやり方や、刈払い機の扱い方を球磨工業高校の生徒が教わりました。



写真3 芯止め作業の様子



写真4 刈払い機の講習



写真5 人吉新聞記事

(5) 収穫

収穫作業は10月から11月まで続きます。

収穫には、地域の方々や、須恵幼稚園、須恵小学校など、地元の子供たちが参加し、高校生と収穫体験を行ないました。



写真6 収穫の様子

(6) 綿繰り機のメンテナンス

電動綿繰り機は、平成26年度に本校から和綿の里づくり会に寄贈されました。試作段階から作業場に何度も足を運び、実際に作業をされている方の要望や、使用時の不具合を聞き、それらを改善していくことで実用化した作品です。寄贈後は、定期的なメンテナンスなどを、行なってきました。



写真7 製作の様子



写真8 綿繰り機